

営業収益は、主力のカード事業、ショッピングクレジット事業、決済事業が堅調に推移し、166億円(前年同期比2.9%増)。  
 営業費用は、経費の厳格なコントロールなどにより、145億円(同1.5%減)。  
 この結果、経常利益は20億円(同50.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億円(同50.3%増)。

1. 要約損益計算書

(単位: 億円)		FY2014		FY2015		前年同期比	
		1Q	1Q	1Q	1Q		
営業収益	1	161	166	4.7	2.9%		
営業費用	2	148	145	Δ 2.1	-1.5%		
販売費及び一般管理費	3	142	140	Δ 2.1	-1.5%		
人件費・物件費等	4	122	120	Δ 1.6	-1.3%		
クレジットコスト	5	20	19	Δ 0.5	-2.6%		
貸倒引当金繰入額	6	20	19	Δ 0.5	-2.6%		
利息返還損失引当金繰入額	7	—	—	—	—		
金融費用	8	5	5	0.0	0.0%		
営業利益	9	13	20	6.8	51.2%		
経常利益	10	13	20	6.8	50.5%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	11	11	17	5.8	50.3%		

FY2015業績予想*		
2Q累計	進捗率	通期
338	49.2%	686

40	50.8%	97
40	51.0%	97
33	52.6%	80

\*2015年5月12日公表

<アプラスグループ 各事業のトピックス>

(カード事業)

- ・新生銀行グループの新規事業として、海外専用の「海外プリペイドカード GAICA(ガイカ)」の発行を決定
- ・「Tポイント」機能を搭載したクレジット機能付きTカードの推進

(ショッピングクレジット事業)

- ・「アプラスeオーダー」の利用可能な加盟店網の拡大
- ・営業拠点の新規出店(鹿児島支店)
- ・「Tポイント付きショッピングクレジット」利用促進

(決済事業)

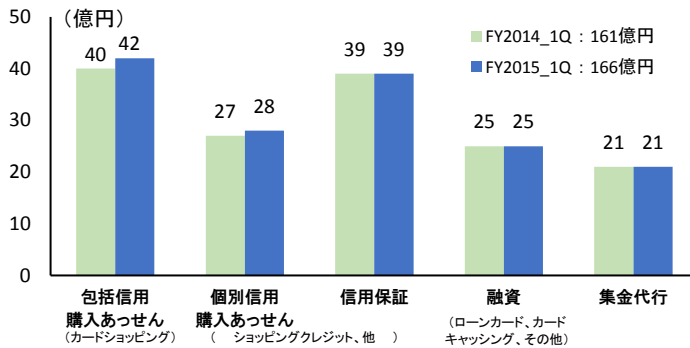
- ・賃貸管理会社などの家賃回収をサポートする「家賃サービス」が堅調な伸び

(ローン事業)

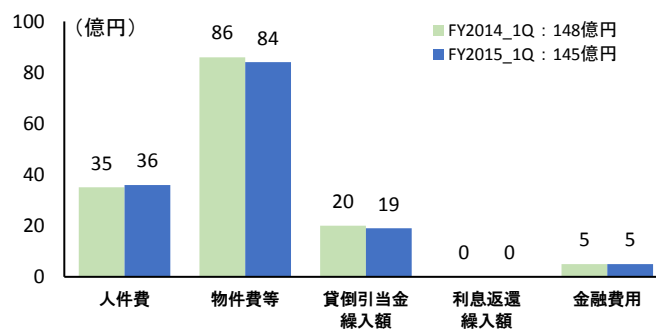
- ・住宅購入の際の諸費用等を対象としたローン商品「マイホームプラン」などの残高の着実な伸長
- ・ローンカードは残高減少が継続も、取扱高が前年同期を上回って推移

2. 部門別営業収益

※グラフには金融・その他収益を含まない

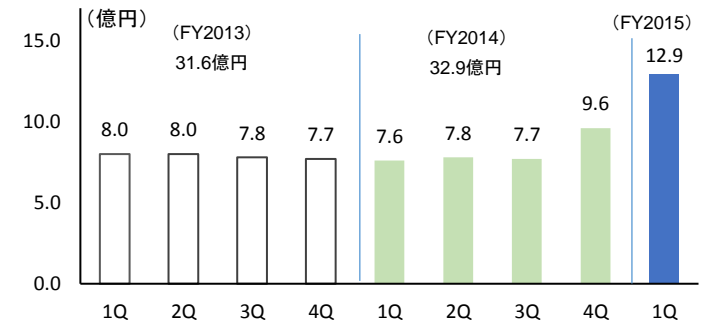


3. 営業費用内訳



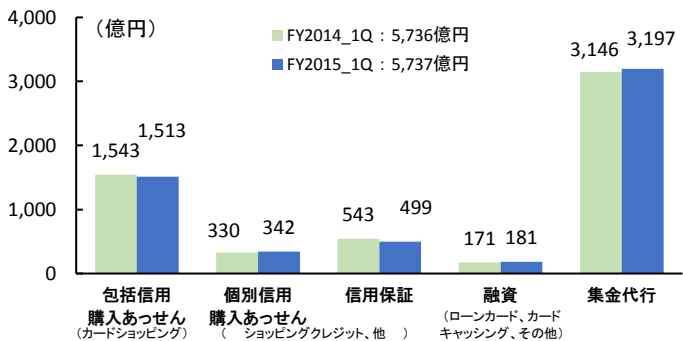
4. 利息返還実績四半期推移

※FY2014\_4Q以降のグラフには吸収合併した新生カードの実績を含む



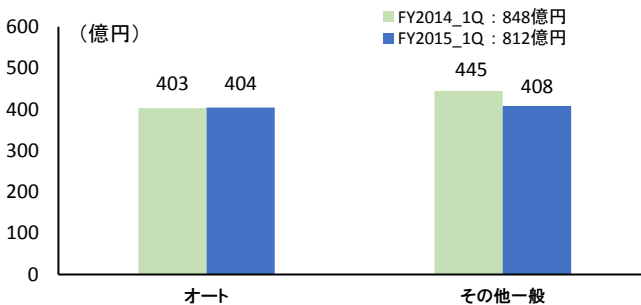
5. 部門別取扱高

※グラフにはリース・その他取扱高を含まない



6. ショッピングクレジット取扱高内訳

※「個別信用購入あっせん」と「信用保証」の一部



7. 融資取扱高内訳

